

8. 古ノルド語の影響

要点

- 古ノルド語とは？
- 古ノルド語が英語に与えた影響とは？
- 英語史上,古ノルド語がなぜ重要か？
- See tag [old_norse]

現代英語の特徴（復習）

- +1. () Vocabulary
- +2. () Simplicity
- +3. Natural ()
- 4. () Expressions
- 5. () Gap

征服の歴史（復習）#37

1. () : 6000 BC –
2. () : 55, 54 BC and AD 43
3. (): 449
4. (): mid-C8 – C11
5. (): 1066 () Con-quest

() の時代

- () 世紀後半 ~ () 世紀前半の 250 年ほど
- () 年 : King () の活躍
- () 年 : ヴァイキングの首領 , イングランド王に
- () 年 : 三代にわたるヴァイキング王朝の終焉 , アングロサクソン王

朝の復活

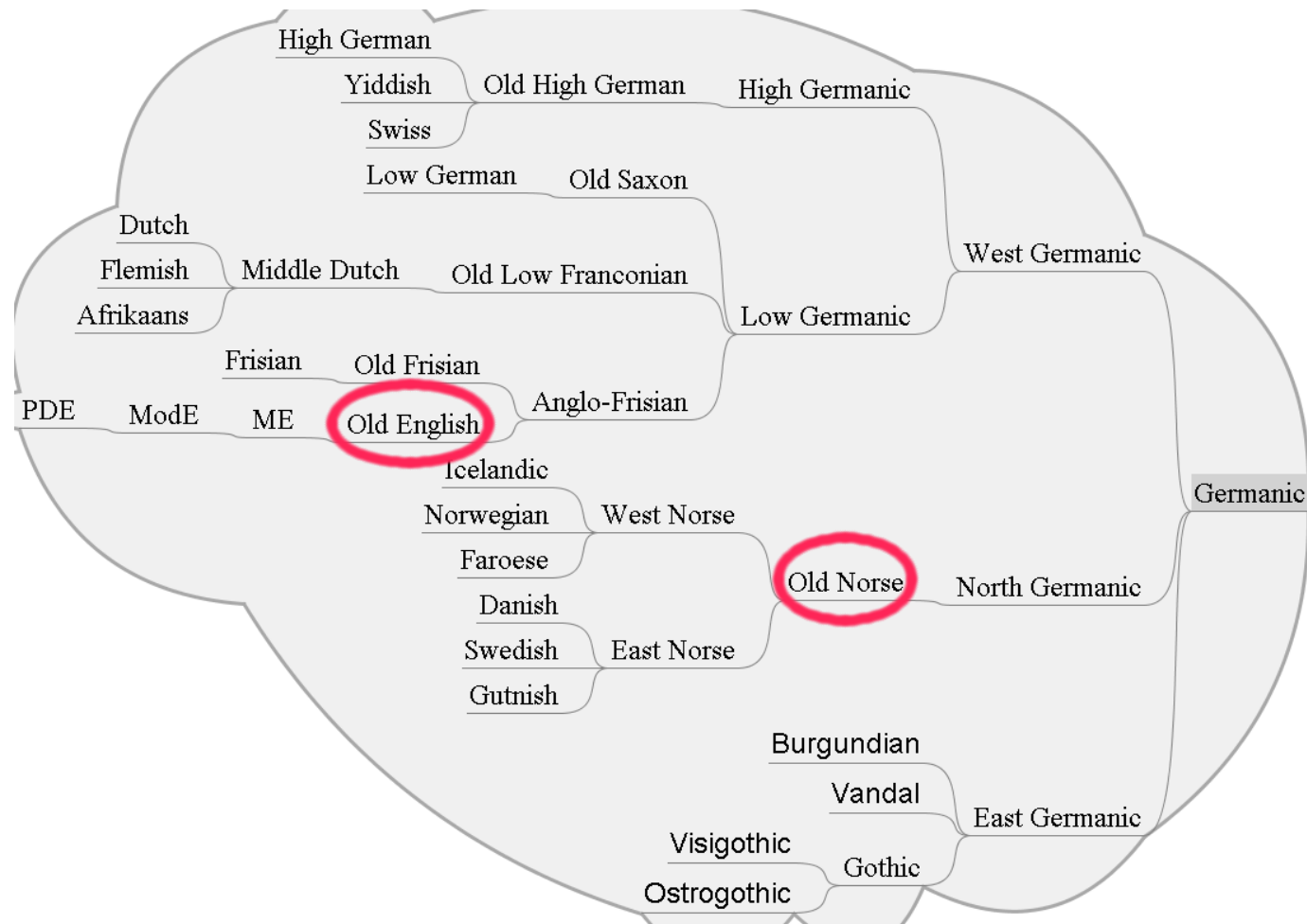
- () 年 : () 人の征服
- この間に , 多くのヴァインキングが
イングランドの () に定住
- 古英語話者と古ノルド語話者が融合
し , 言語も融合した

関連用語

- () : ヨーロッパを舞台に
海賊・侵入・定住を繰り返した北欧出
身の人々
- () 人 : 現代の北欧諸国の国民 (フ
ィンランドは非ゲルマン民族)
- () 人 : スカンディ
ナヴィア地方出身の人々

- () 人：北ゲルマン語派の言語を話す人々．
- 古ノルド語：() ．北ゲルマン語派の諸言語の（実在する）祖語．紀元 1000 年前後には，() 差はいまだ僅少．

OE と ON の関係



ON からの借用語

- () 借用語に比べ数は多くなく ,
- 現代標準英語に残るのは () 語ほどだが ,
- () 語や () 語などの高頻度語が多く ,
- 本来の英語と区別がつかないほど深く浸透 .
- () にも多く ,
- イングランドの () の方言を含めれば倍増する .

ON 借用語と頻度

次ページの表中の順位と頻度は、*The Brown Corpus* の 100 万語あたりの出現回数に基づいている。

統計の情報元は、The General Service List (<http://jbauman.com/gsl.html>) による。

なお、be 動詞の () は ON であり高頻度語だが、以下の表には含まれていない。be 動詞全体としての頻度は 39,175 回で、総合第 () 位。

単語	順位	頻度
the()	13	8555
sh()	19	6164
tak()	60	1586
ge()	66	1488
giv()	75	1270
see()	106	853
bot()	125	731
cal()	129	711
sam()	139	690
wan()	149	654
agai()	171	580
though	251	440
law	282	393
low	343	327
cut	378	300
raise	545	204
happy	561	196
die	593	184
smile	602	183
window	632	175
husband	663	163
hit	676	160
race	678	160
dream	754	143
bank	772	137
skill	810	129
leg	831	126
seat	980	99
weak	982	98

英語であって英語でない文（復習）

() they are () weak
(), she gives them ().

（彼らは二人とも弱い奴らだが，彼女
は彼らに贈り物をあげる．）

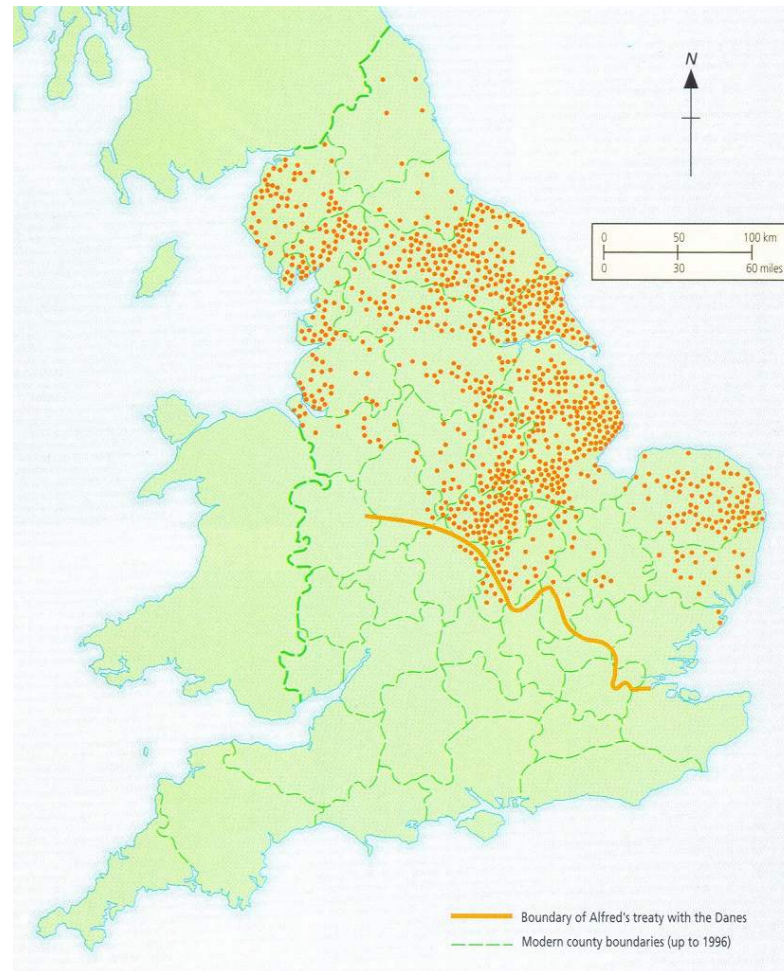
ON なしでは・・・ #340

An Englishman cannot () or be () or () without Scandinavian words; they are to the language what () and () are to the daily fare. (Jespersen)

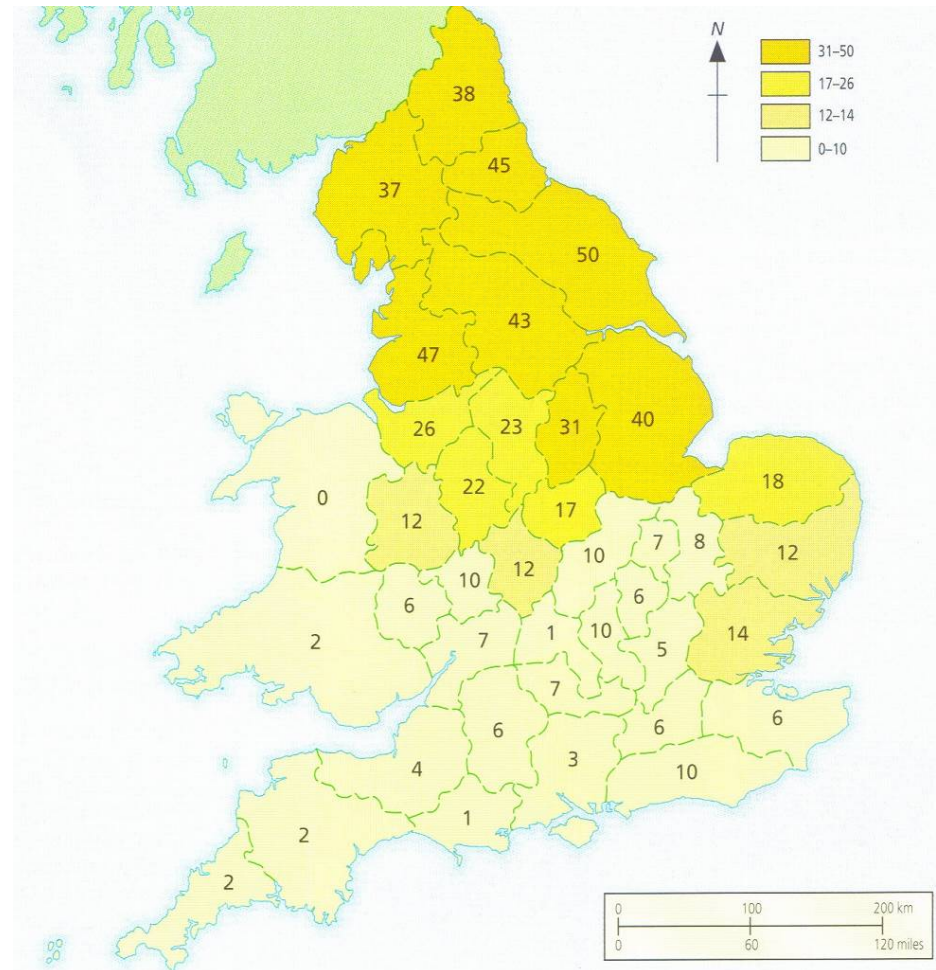
イングランドの地名の ON

- ON 由来の地名が () 以上
- 東部・北部の“()”に集中
- *-by* 「()」: *Derby, Rugby, Whitby*
- *-thorpe* 「()」: *Althorp, Bishopsthorp*
- *-thwaite* 「()」: *Applethwaite, Braithwaite, Storthwaite*
- *-toft* 「()」: *Eastoft, Langtoft*

ON 地名の分布



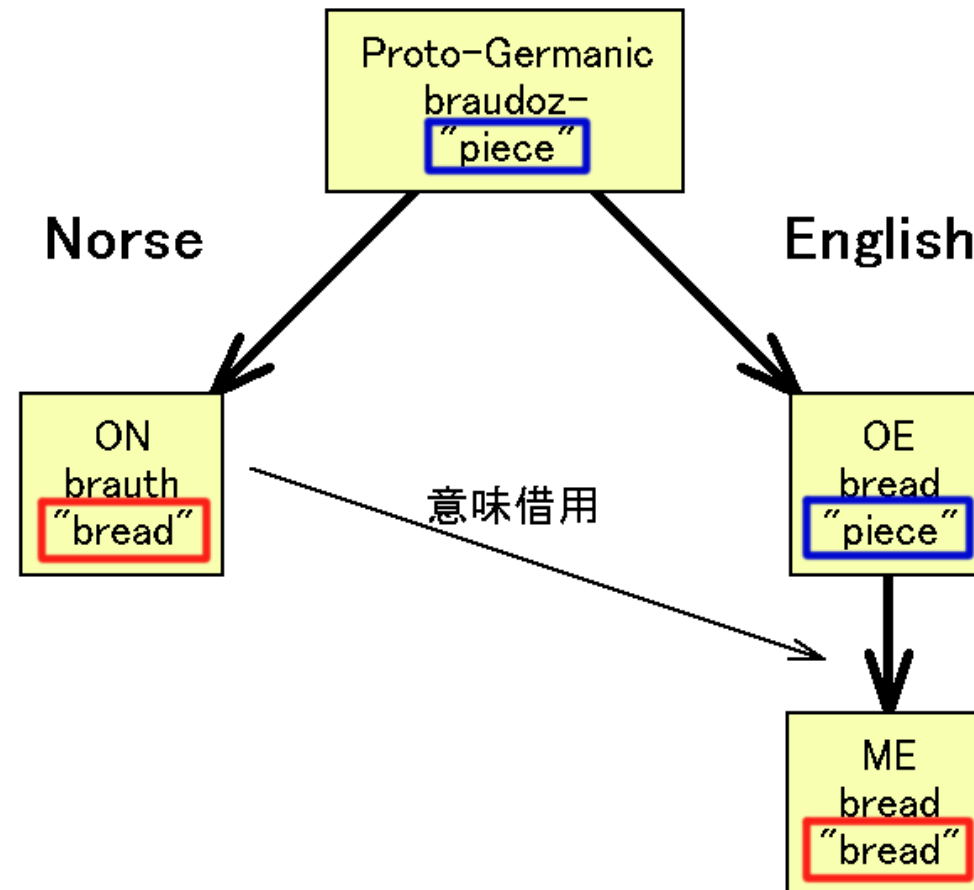
人名 () の出身地の分布



ON からの () cf. #170

- もともと英語としてあったが，対応する ON から意味を借りた例
- *bloom*: OE 「()」, ON 「花」
- *bread*: OE 「()」, ON 「パン」
- *dream*: OE 「()」, ON 「夢」
- *gift*: OE 「()」, ON 「贈り物」
- *plow*: OE 「()」, ON 「鋤」

bread の例



ON の () への影響

- () : *give up, stand by* などの動詞と小辞を組み合わせた表現
- () 語では一般的ではないが , () 語ではよく発達していた
- 言語接触により英語でも使用が促進されたか？

ON の影響の英語史的意義

- 英語と ON の話者はおそらく意思疎通が可能だった。
- 民族的，文化的に近く，「兄弟」のように喧嘩し「兄弟」のように仲直りした。
- 両言語が交わったとき，() にも著しく重要な影響を与えた・・・